

I 第22週の発生動向 (2010/5/31~2010/6/6)

1. 感染性胃腸炎については、県全体の届出数は減少しましたが、患者数が多い状態は続いていることから今後も注意が必要です。
2. 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内及び上十三保健所管内において、新たに**警報**が発令され、むつ保健所管内では第20週から継続しています。

II 第22週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ															0				
小児科 (74) RSウイルス感染症	2	0.2	4	0.4	4	0.4			2	0.3	5	1.3	17	0.4	10			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	4	0.4	4	0.4					4	1.0	14	0.3	1			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.4	7	0.8	2	0.2	1	0.2	6	1.0	2	0.5	22	0.5	-13			4	0.5
(77) 感染性胃腸炎	75	8.3	28	3.1	9	1.0	11	2.2	18	3.0	25	6.3	166	4.0	-13	8	8.0	67	8.4
(78) 水痘	12	1.3	22	2.4	11	1.2	5	1.0	16	2.7	12	3.0	78	1.9	33			12	1.5
(79) 手足口病					4	0.4			17	2.8			21	0.5	9				
(80) 伝染性紅斑	32	3.6							13	2.2	6	1.5	51	1.2	14			32	4.0
(81) 突発性発しん	7	0.8	3	0.3	4	0.4	1	0.2	1	0.2	3	0.8	19	0.5	-7			7	0.9
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ	2	0.2	2	0.2	1	0.1					1	0.3	6	0.1	-3			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎	14	1.6	10	1.1	2	0.2	13	2.6	4	0.7	1	0.3	44	1.0	15	2	2.0	12	1.5
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					1	0.5	7	7.0					8	0.7	4				
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					12	12.0					6	6.0	18	3.0	3				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人、五所川原2人、上十三2人、青森市1人 (22年計:105人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：八戸1人 (22年計: 2人)

IV 病原体検出情報

- ・病原体情報はありませんでした。
- ☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

伝染性紅斑

(五類小児科定点把握)

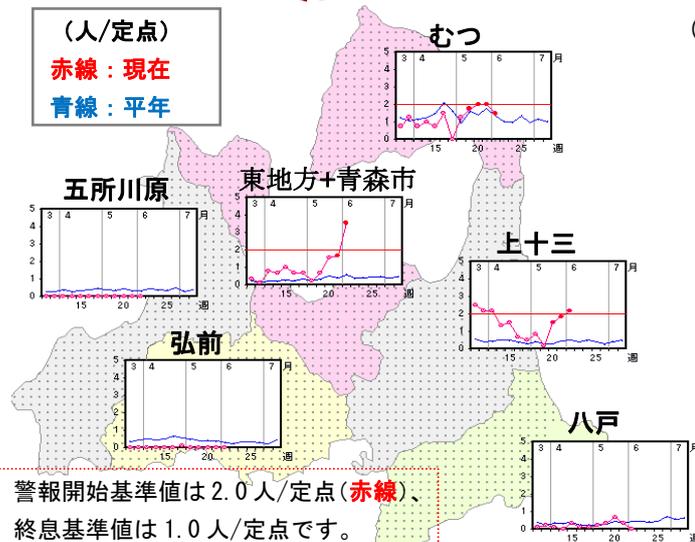


図1 保健所管内別届出数(青森県)

現在、青森市及び上十三保健所管内では急増し、むつ保健所管内では報告数の多い状態が続く、警報が発令されています。

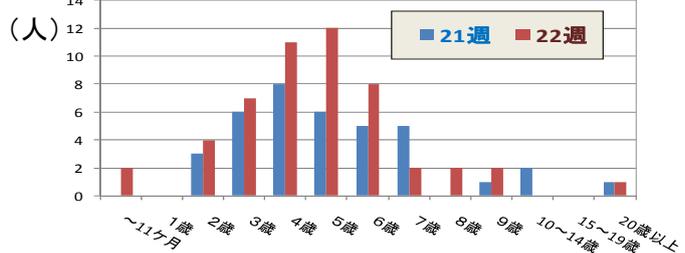


図2 年齢別届出数(第21-22週 青森県)

伝染性紅斑の病原体は、ヒトパルボウイルス B19 です。青森県では5月から増加傾向にあります。本疾患は、4~15日の潜伏期間の後、かぜ様症状から、頬に境界鮮明な赤い発疹(蝶形紅斑)が現れることが特徴で、俗称”りんご病”とも呼ばれています。届出された年齢別患者数では、4~6歳が多いことから流行地域の幼稚園、保育園では注意が必要です(図1)。本疾患は、飛沫及び接触感染によるため、感染予防としては手洗いの励行などが重要です。妊婦が感染した場合には、胎児に影響することもあり、感染が疑われた場合は速やかに医療機関を受診、相談することをお勧めします。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（注：届出状況は速報値です）単位：人 2010年第1週～第21週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
1	H22.1.4 ~ H22.1.10						
2	H22.1.11 ~ H22.1.17						
3	H22.1.18 ~ H22.1.24			麻しん1人			
4	H22.1.25 ~ H22.1.31						
5	H22.2.1 ~ H22.2.7						
6	H22.2.8 ~ H22.2.14						
7	H22.2.15 ~ H22.2.21						
8	H22.2.22 ~ H22.2.28	コレラ1人	ウイルス性肝炎1人 急性脳炎1人				
9	H22.3.1 ~ H22.3.7						
10	H22.3.8 ~ H22.3.14		ジアルジア症1人				
11	H22.3.15 ~ H22.3.21		アメーバ赤痢1人				
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	後天性免疫不全症候 群1人					
13	H22.3.29 ~ H22.4.4						
14	H22.4.5 ~ H22.4.11			麻しん1人			
15	H22.4.12 ~ H22.4.18					麻しん1人	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25		クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人				
17	H22.4.26 ~ H22.5.2						
18	H22.5.3 ~ H22.5.9						
19	H22.5.10 ~ H22.5.16				つつが虫病1人		
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	A型肝炎1人	ウイルス性肝炎1人				
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	アメーバ赤痢1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) 2010年第1週～第21週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
1	H22.1.4 ~ H22.1.10	4		2			1
2	H22.1.11 ~ H22.1.17	1			1		
3	H22.1.18 ~ H22.1.24	1	1	1	1	1	
4	H22.1.25 ~ H22.1.31	1	3	4			
5	H22.2.1 ~ H22.2.7	1	2	1		1	
6	H22.2.8 ~ H22.2.14	1	2	2			
7	H22.2.15 ~ H22.2.21	1	2	1			
8	H22.2.22 ~ H22.2.28	1			1		
9	H22.3.1 ~ H22.3.7		3	1	2	1	
10	H22.3.8 ~ H22.3.14	2	1		3	1	
11	H22.3.15 ~ H22.3.21	1		5			
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	1	1	1	2		
13	H22.3.29 ~ H22.4.4	2		2			
14	H22.4.5 ~ H22.4.11	2					
15	H22.4.12 ~ H22.4.18	1		2	1	2	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25	1					
17	H22.4.26 ~ H22.5.2				2	2	
18	H22.5.3 ~ H22.5.9	2		1			
19	H22.5.10 ~ H22.5.16	1	3				
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	1	1	1		1	
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	2	1	1	2	1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）2010年第1週～第21週

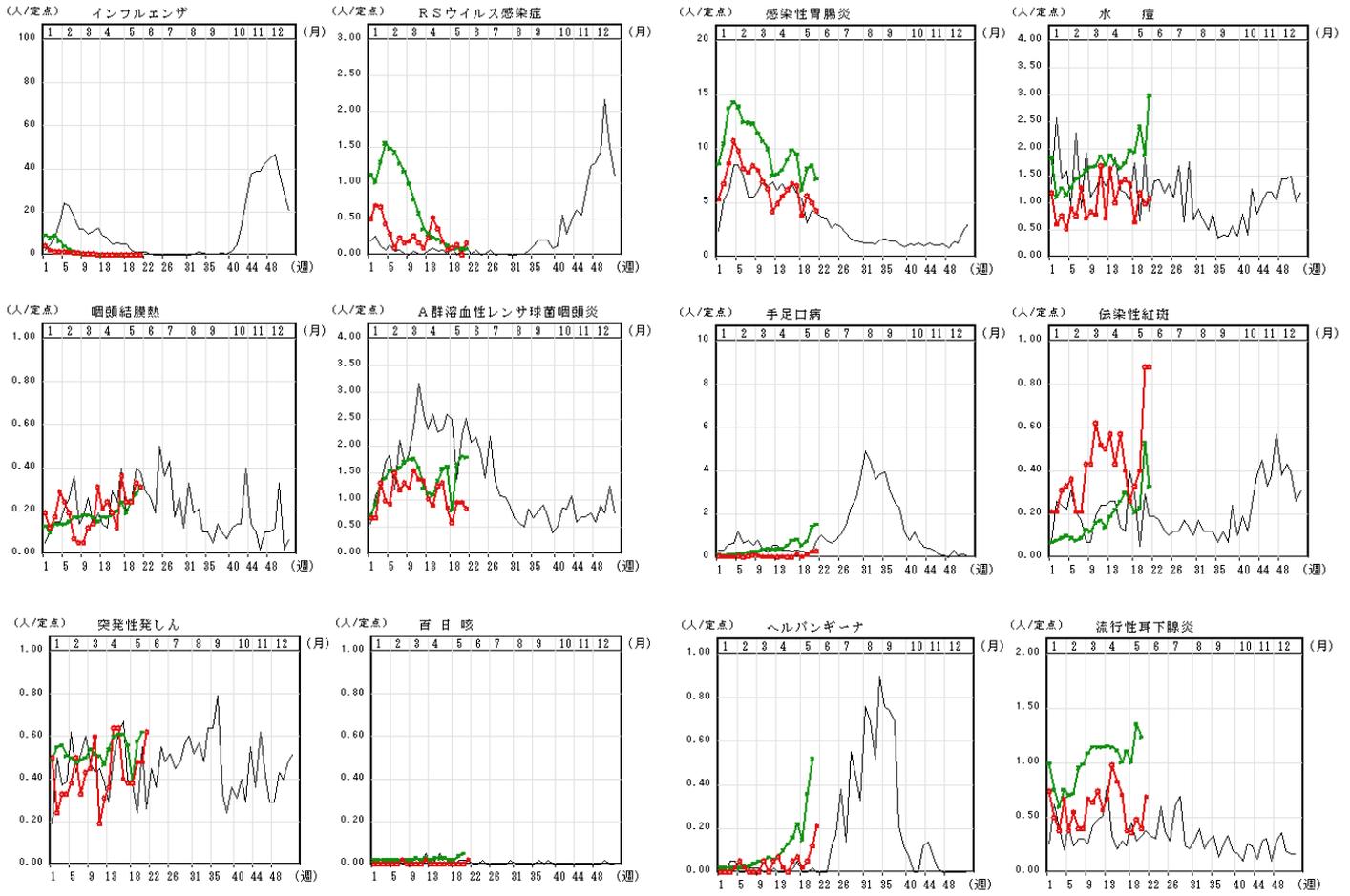
（注：届出状況は速報値であり、本県で届出のあった疾患のみを掲載しています）

	コレラ	ジアルジア症	クロイツフェルト・ヤコブ病	つつが虫病	急性脳炎	A型肝炎	後天性免疫不全症候群	ウイルス性肝炎	アメーバ赤痢	麻しん
全国	4	32	55	59	101	222	557	78	315	217
青森県	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)

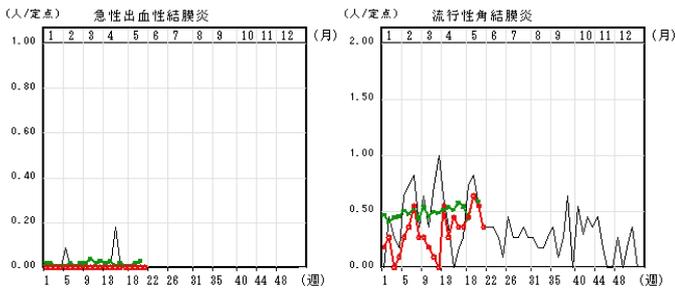
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2010年第1週~第21週



IX 眼科定点把握疾患週別推移

2010年第1週~第21週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2010年第1週~第21週

